

**G空間情報センターを通じた  
屋内電子地図等の提供に係る検討状況について**  
-実施内容⑤ サービス実証②状況報告

平成30年1月12日  
高精度測位社会プロジェクト事務局

1. G空間情報センターを通じた屋内電子地図等の収集・整備・提供に係る基本的な方針と取組状況
2. サービス事業者実証②について



## 【1.屋内電子地図等の収集・整備・提供に係る基本的な方針と取組状況】



第1回高精度測位社会プロジェクト検討会 資料5より再掲

■東京オリンピック・パラリンピック競技大会にむけて競技施設及び施設周辺駅における屋内外シームレスな位置情報サービスが実現可能となるよう、国土地理院の「階層別屋内地理空間情報データ仕様書（案）」に基づく、屋内電子地図の整備と流通を推進する。

- 高精度測位社会プロジェクトで実証した地域に加えて、ターミナル駅やオリンピック・パラリンピック競技施設（以下、オリパラ関連施設という）を重点的な整備・流通対象とする。
- 基盤となる屋内電子地図（以下、「白地図」という）は、測位機器等の高精度な位置情報等を共有する基盤として活用し、パブリックタグ等測位機器の位置情報の共有化を図る。
- 今後、3次元の屋内電子地図など新たな屋内電子地図に関する仕様が示された場合は、それらを踏まえた基盤となる屋内電子地図の整備・流通を推進する。
- 屋内電子地図、測位機器の位置情報や測位機器へのアクセスログデータは、G空間情報センターを情報ハブとして流通させる。

# 屋内電子地図等の収集・整備・提供に係る 基本的な方針を踏まえた取組状況

## 1. 高精度測位社会プロジェクトにおいて整備した屋内電子地図の公開

### 取組状況

- 平成29年11月16日に新宿駅周辺屋内地図をオープンデータとして公開。
- 公開後アクセス数、ダウンロード数は多く、G空間情報センターのなかでも人気コンテンツの一つとなっている。
- 今後は、東京駅周辺、日産スタジアムを年度内目途に提供予定

参考：公開後のダウンロード数（11/1～12/31）

- 新宿駅周辺屋内地図オープンデータ（GeoPDF） 244
- 新宿駅周辺屋内地図オープンデータ（Shapefile） 118
- 新宿駅周辺屋内地図オープンデータ\_統合版（Shapefile） 33



## 2. 民間主体で整備を進める地域への対応

### 取組状況

- 特に複数の施設管理者等に跨がるオリパラ関連施設（ターミナル駅）を優先するため、鉄道事業者を中心に素材等の提供について協議中。
- ターミナル駅における協議会等既存の枠組みとの連携について協議中。

## 3. 民間成果提供の仕組みの検討

### 取組状況

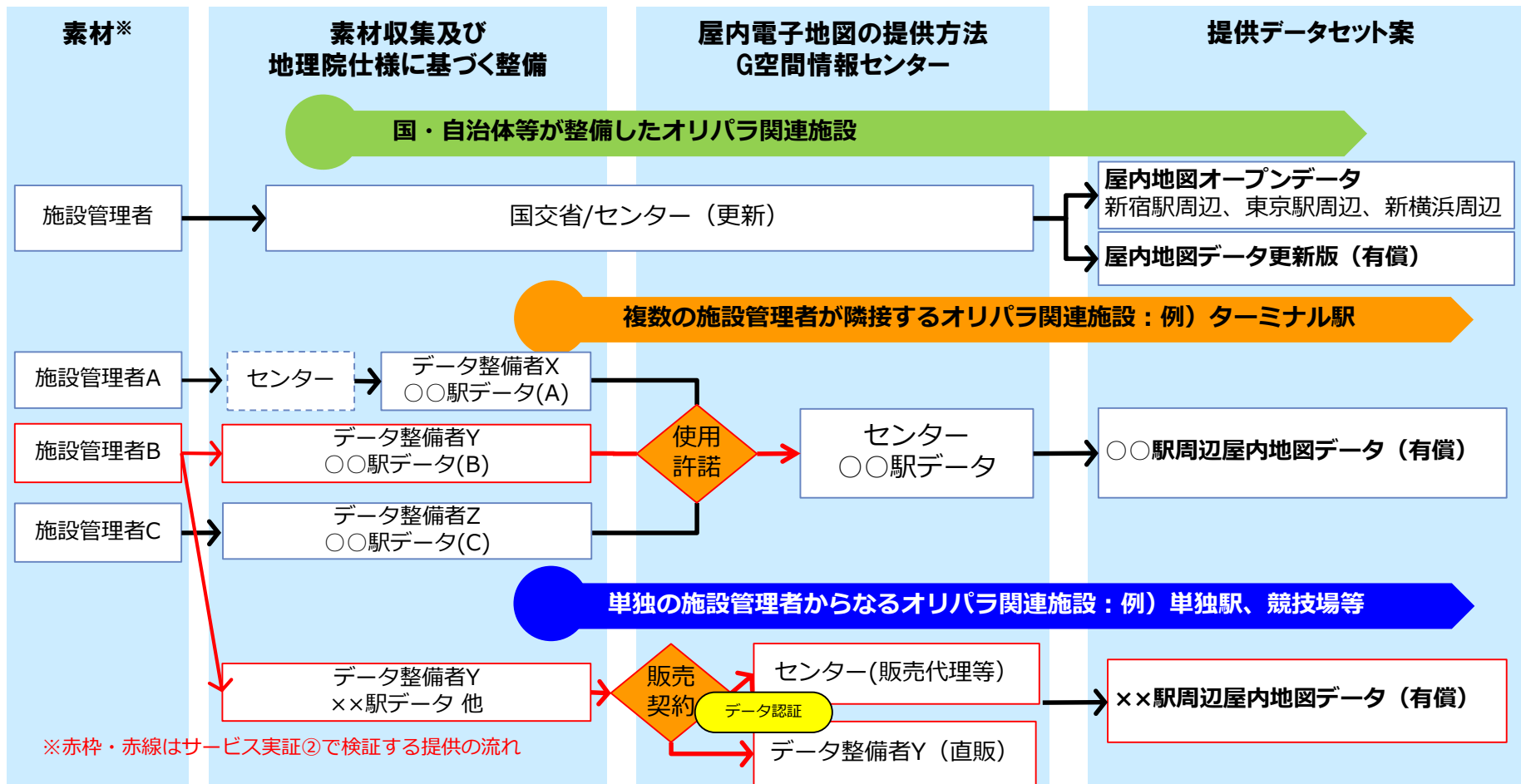
- 現時点で想定している提供の仕組み（案）は次頁の通り。
- 民間事業者によるサービス実証②と連携し、課題検討を行う。



出典：G空間情報センター  
([https://www.geospatial.jp/gp\\_front/](https://www.geospatial.jp/gp_front/))

# G空間情報センターを通じた 屋内電子地図等の民間成果提供の仕組み（案）

- ターミナル駅等の複数の施設管理者からなるオリパラ関連施設は、それぞれの施設管理者等からセンターが素材データや屋内電子地図の提供を受け、一体的なデータとして提供する。
- 単独の施設管理者からなるオリパラ関連施設は、センターによる民間成果の認証や品質検査等を行い、提供する。



※CAD, GISデータ, PDFデータなど施設管理者及び許諾を得た者が整備したデータを含む  
 ※現時点で想定される仕組みであり、今後関係者の調整により変更する場合がある。

※提供単位は未定。駅単位で提供することを担保するものではない  
 ※屋内地図データには歩行者NWなどが含まれる場合がある



## 【2.サービス事業者実証②について】

# サービス事業者実証② 実施要領

■ G空間情報センターを通じた民間成果提供の仕組みの検証を目的にサービス事業者実証②を実施する。

項目	概要
1.実施概要・目的	<ul style="list-style-type: none"><li>電子地図や測位環境などの整備費用は参加企業の負担とする一方で、実証環境の継続利用や、国による占用許可の支援など、適切な役割分担・費用負担を検討し、オリパラ関連施設周辺における位置情報サービスの実現（整備エリア拡大）を進める。</li><li><u>参加事業者の取組を踏まえ、事務局・G空間情報センターとして以下の取組を行う</u><ul style="list-style-type: none"><li>✓ <u>G空間情報センターを通じた民間成果の提供の流れと体制の検証</u></li><li>✓ <u>高精度屋内地図の認定の仕組みの確立</u></li></ul></li></ul>
2.参加者 (企業・団体)	実施を希望する事業者（実証実験に係る費用は各社負担となります）
3.参加規約	<ul style="list-style-type: none"><li>国土地理院仕様に基づく地図作成を行っていただけること。</li><li>完成した地図はG空間情報センターを通じて公開を行っていただけること。（有償、無償）</li><li>実施結果について成果報告会にて報告いただけること。</li></ul>
4.スケジュール	現在参加者との個別調整中 1月～ 地図整備・モデル検証 3月 最終とりまとめ（成果報告会にて報告予定）



## サービス事業者実証② 参加予定事業者の実施内容（案）

<b>(1) 参加事業者</b>		NTT空間情報株式会社、株式会社ゼンリン
<b>(2) 実施概要</b>	<b>地図整備箇所</b>	明治神宮前駅
	<b>関係地権者</b>	東京地下鉄株式会社
	<b>整備コンテンツ</b>	ラチ外駅構内地図、ラチ外駅構内歩行空間NW、屋外地図、屋外歩行空間ネットワーク
	<b>整備スケジュール</b>	1月下旬～2月下旬
<b>(3) 検証事項</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• G空間情報センター提供の地図作成用参考情報（CAD等）の有用性確認</li> <li>• 屋内駅構内地図および歩行空間NWの作成コストの確認およびコスト低減化手法の確認</li> <li>• 基盤地図情報との位置整合性の検証</li> <li>• 既存屋内地図データとの位置整合性の検証</li> <li>• 作成データの各種利用ユースケースの適合性の検証</li> </ul>